

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2395700335
事業所名	グループホーム海糸

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	自治会に加入し、回覧板で地域の情報を得ることができる。コロナ禍以前は地域のコミュニティカフェにでかけたり、近隣の店舗で買い物したりできていたが、現在は控えている。制限が解除されたら、また地域とのつながりを徐々に広げていくつもりである。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議は年に6回開催しており、今年度は対面でも2回開催することができた。コロナの感染状況が悪い時には書面で開催し、参加メンバーである町役場、民生委員、包括支援センターへ議事録を送付している。今年度は対面での機会に避難訓練を行い、参加メンバーにも避難の状況を確認してもらい、入居者との避難のあり方、避難場所の設定について意見や提案をもらうことができた。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	コロナ禍にあつて、感染しないための対策や、陽性者が出たときの対応について密に連絡をとりあい、ともに乗り越えることができた。包括支援センターを基点として、認知症家族の会と行方不明者捜索訓練に参加している。また、認知症部会で地域で暮らせる街づくり活動へ参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	事業所だよりがあり、2か月ごとに個別のお便りと運営推進会議の議事録とともに送付している。またLINEでつながっている家族へは画像で様子を伝えているし、そうでない家族へは電話でこまめな連絡をとっている。面会訪問時には必ず要望や意見を聞くようにしている。コロナ禍でも面会の要望は多く、早いうちから面会の制限は解除された。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	—	—	○								

備考欄

--